

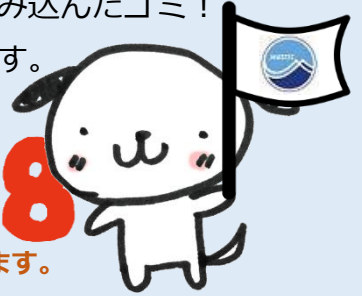
JAMSTEC No109 LIBRARY COMMUNICATION

新年あけましておめでとうございます！

今年はじめの公開セミナーでは、JAMSTECの一風変わったデータベースをご紹介します。
画像・映像で見ることができるのは、なんと「深海デブリ」と呼ばれる海に沈み込んだゴミ！
深海生物やチムニー等だけではない、深海のもう一つの姿を知ることができます。

図書館でもデータベースに関する本や海に捨てられたゴミが環境に与える影響についての本等を展示しています。

2018



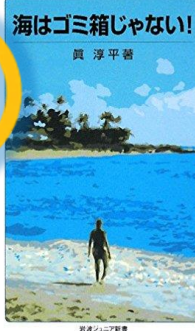
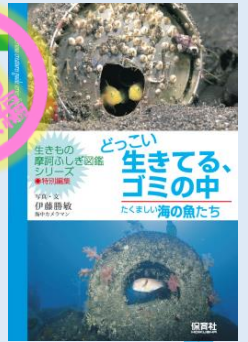
※深海デブリデータベースはインターネットで下記より無料公開しています。

<http://www.godac.jamstec.go.jp/catalog/dsdebris/j/>

『どっこい生きてる、ゴミの中：たくましい海の魚たち』

伊藤勝敏写真・文 / 保育社刊

海に暮らす魚たちの写真。でも、なんだかちょっとちがう・・・？タイヤに空き缶、スニーカー。そう、この本で紹介している魚たちのおうちは、わたしたち人間が出したゴミなのです！絵本や映画に出てくるような美しいイメージとは異なる海の姿と、たくましく生きる魚たちをごらんください。



『海はゴミ箱じゃない!』

眞淳平著 / 岩波書店刊

海に沈んでいるごみの多くは、人工のものと言われています。それらのせいで命を落とした生物も少なくありません。また、ごみに含まれる物質が海の生態系にも影響を及ぼす上、一度溜まってしまうと回収にとてつもない労力や費用がかかります。

海洋環境の問題点を私たちに投げかける本書。解決するにはどうすればよいか、考えていきましょう。

『海の世界微生物学（増補改訂版）』

石田祐三郎, 杉田治男編 / 恒星社厚生閣

海の生態系を基から支える海洋微生物。細菌、菌類、藻類の極めて多様な種類のいずれもが海洋と地球の環境を考える上で欠かせない存在であり、炭素循環など、大きく地球環境にも関わっています。流出した石油を微生物で分解するなど、海洋環境を修復する役割も期待されています。

ミクロの生物の持つ大きな力を改めて考える一冊です。





第216回地球情報館公開セミナー 参考文献一覧

開催日時:平成30年1月20日 13:30~15:00

「深海デブリデータベースで見る深海の姿」

講師:齋藤秀亮(地球情報基盤センター 地球情報技術部データ情報化技術グループグループリーダー代理)



★テーマ関連参考資料リスト:今回は、深海・海洋ゴミ(デブリ)・海の環境問題・データベースに関する資料を図書館2Fに多数展示しています。どうぞご来館ください。

<専門書>

書名	著者名	出版社名	備考
海の環境微生物学 増補改訂版	石田祐三郎, 杉田治男編	恒星社厚生閣	(裏面)Library Communication No.109で紹介しています

<雑誌記事>

記事名	掲載雑誌名・巻号・ページ・出版年	備考
1 特集 海洋プラスチック汚染と生物影響	海洋と生物 36(6), 555-620, (2014)	海洋プラスチック汚染をテーマにした特集号 ※貸出不可の資料につき、館内で閲覧ください
2 東京湾海底におけるごみの組成・分布とその年代分析	日本水産学会誌 69(5), 770-781, (2003)	★インターネットで下記より無料で閲覧できます https://www.jstage.jst.go.jp/article/suisan1932/69/5/69_5_770/_pdf/-char/ja ※貸出不可の資料につき、館内で閲覧ください
3 鹿児島湾における海底堆積ごみの分布と実態	日本水産学会誌 75(1), 19-27, (2009)	★インターネットで下記より無料で閲覧できます https://www.jstage.jst.go.jp/article/suisan/75/1/75_1_19/_pdf/-char/ja ※貸出不可の資料につき、館内で閲覧ください

<一般書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 海はゴミ箱じゃない! (岩波ジュニア新書 601)	眞淳平著	岩波書店	(裏面)Library Communication No.109で紹介しています
2 どっこい生きてる、ゴミの中:たくましい海の魚たち (「生きもの摩訶ふしぎ図鑑」シリーズ)	伊藤勝敏写真・文	保育社	(裏面)Library Communication No.109で紹介しています
3 ぼくは「しんかい6500」のパイロット (「私の大学」テキスト版 3)	吉梅剛著	こぶし書房	「しんかい6500」チームの潜航長をつとめた吉梅パイロットによる著書。網やロープなどのデブリが、潜水艇に及ぼす深刻な影響について、コラムの中で触れられています。
4 プラスチックスープの海:北太平洋巨大ごみベルトは警告する	チャールズ・モア, カッサンドラ・フィリップス著; 海輪由香子訳	NHK出版	★新着図書
5 散乱ペットボトルのツケは誰が払うのか:デポジット制度の実現をめざして	栗岡理子著	合同出版	★新着図書
6 新編漂着物事典:海からのメッセージ	石井忠著	海鳥社	★新着図書
7 海の環境100の危機	東京大学海洋研究所DOBIS編集委員会編	東京書籍	
8 おうちで学べるデータベースのきほん:全く新しいデータベースの入門書	ミック, 木村明治著	翔泳社	★新着図書

<児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 水道・下水道・海のごみ (調べようごみと資源 6)	松藤敏彦監修	小峰書店	★新着図書
2 浜辺のコレクション (ふしぎコレクション 1)	浜口哲一, 池田等著	フレーベル館	
3 ぼくの先生は東京湾 (ふしぎびっくり写真えほん)	中村征夫写真・文	フレーベル館	
4 海をまもろう (ジュニア環境調査隊)	マーティン・ブラムウェル著; 武田正倫訳	丸善	
5 ゴミ問題とわたしたち (写真とデータで考える21世紀の地球環境 5)	サリー・モーガン著; 北原由美子訳	文溪堂	

上記の資料は2018年2月15日まで横浜研究所地球情報館2F図書にて展示しております。

(図書館の開館時間 平日10:00~17:00、公開セミナー開催の第3土曜日10:00~16:00)

お問い合わせ:海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課 横浜図書館 045-778-5476 library@jamstec.go.jp